



2005 年下半期アンテナ・伝播研究専門委員会議題

アンテナ・伝播研究専門委員会
委員長 安藤 真

日時： 2005 年 12 月 15 日（木） 9:30～12:00
場所： 東京工業大学大岡山キャンパス百年記念館

議題：

- | | |
|----------------------------------------|-------------|
| (1) 前回（2005 年 6 月 23 日）議事録の確認 | 【AP05-2-1】 |
| (2) 2005 年度専門委員会構成 | 【AP05-2-2】 |
| (3) 報告事項 | |
| (i) 研究専門委員会運営報告・中間会計報告 | 【AP05-2-3】 |
| (ii) 第二種研究会常設委員会報告 | 【AP05-2-4】 |
| (iii) AP 論文委員会報告 | 【AP05-2-5】 |
| (iv) AP 国際委員会報告 | 【AP05-2-6】 |
| (v) AP 出版委員会報告 | 【AP05-2-7】 |
| (vi) AP 歴史委員会報告 | 【AP05-2-8】 |
| (vii) 通信ソサイエティ研専運営会議報告 | |
| (viii) 第三種研「人体電磁ファントム研究会」報告 | 【AP05-2-9】 |
| (ix) 第二種研「マイクロ波シミュレータ研究会」報告 | 【AP05-2-10】 |
| (x) ISAP（国際会議委員会、ISAP2005,2006,2007）報告 | |
| (xi) 専門委員作業分担状況報告 | 【AP05-2-11】 |
| (4) 審議事項 | |
| (i) アンテナ・伝播研究会 2006 年度実施計画 | 【AP05-2-12】 |
| (ii) 2006 年度専門委員会体制について | 【AP05-2-13】 |
| (5) その他 | |

以下の項目は AP 研 HP での報告とさせていただきます。御覧の上意見がございましたら幹事までお知らせ下さい。

- (1) 2005 年ソ大会シンポジウム開催報告(最新の移動体・端末用スマートアンテナ)



2005 年上半期アンテナ・伝播研究専門委員会議事録

日時： 2005 年 6 月 23 日（木） 9:30～12:00

場所： 機械振興会館 地下 2 階 2 会議室

出席者（以下すべて敬称略）：安藤，堀，高橋，宮下，山本，新井，岩井，坂口，佐藤，榊原，関根，長，常川，廣川，福迫，前山，山田，和田，大室（平部代理），宇野

議題：

- (1) 前回（2004 年 12 月 16 日）議事録の確認 【AP05-1-1】
- (2) 2005 年度専門委員会・顧問会・アドバイザースタッフ（AS）の構成 【AP05-1-2】
名簿：岩井委員所属修正。 AS の名簿を追加すること。
個人情報 は信学会規則に準じ委員会内のみ公開とする。取り扱い注意願う。WEB 上は名前と所属のみ公開とする。
- (3) 報告事項
 - (i) アンテナ・伝播研究会 2004 年度運営報告（長） 【AP05-1-3】
収支：WS（WS 29 / 30，R 7） 剰余金増で残高増。
支出において、第 1 種、2 種研究会で別々に明細を設けているが、まとめかた、収入の有効利用について今後とも議論要。
 - (ii) 第二種研究会常設委員会報告（長） 【AP05-1-4】
WS 29，30： 300 名弱が参加。好評。
WS 31： 開催終了。好評。
WS 32： 森下講師。シラバス審議終了、9 月 19 日にテキスト審議予定。進捗を見て、開催時期を判断。
WS 33： 山田講師。体制：唐沢委員長、長総務幹事、菊間企画幹事、広川会場幹事。委員選定中。
WS 34： 堀講師。体制：鈴木委員長、陳総務幹事、宮下企画幹事、広川会場幹事。

場所は常に東京でよいのか？（安藤） → 毎回アンケートを参考にしているが、現状、東京が妥当と判断している。（長、高橋）
 - (iii) AP 論文委員会報告 【AP05-1-5】
委員構成（岩井）：名簿の通り委員変更あり。和文誌、英文誌とも AP 関係者の重要ポストが増えた。
英文誌報告（山田）：海外からの投稿が多く、国内の査読・編集委員のみでは対応に無理が生じつつある。また、2 重投稿などの悪質なものもあり、判定に苦労している。
編集委員会の頻度は？（安藤） → 年 4 回である。普段はメール審議である（山田）。
和文誌報告（岩井）：投稿数は横ばいだが、すこし下がりつつある。英文誌に流れる傾向か？対策として特集号を多く組むこととしている。特集号投稿数の方が一般より多い。
編集委員会の頻度は？（安藤） → 基本は毎月。年 10 回程度（岩井）。
オンライン化の状況は？（安藤） → 通ソに所属すると和英両方オンラインで閲覧可となり、印刷物は別途買うことになる。収支は和英共通となる。結果として英文誌の赤字が減るが、和英両方とも赤字となることもありえる。その他の事業（各専門委員会中心）で学会全体としては黒字化を狙っている（新井）。



電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 専門委員会

ISAP特集号報告（新井）：無事発行した。特集号の宣伝を早めに行い、投稿論文の質を高める必要がある。

英文誌小特集号報告（山田）：費用の一部についてAP研の2種研収入より補助。

和文特集号（岩井）：05年分：判定済。9月出版予定。

06年分：テーマ、体制決定。06年9月発行予定。投稿締め切りの厳格化：06年1月5日。

- (iv) AP 国際委員会報告（高橋） 【AP05-1-6】
当該委員会はK J J Cなどの研究会国際化の窓口となる。
- (v) AP 出版委員会報告 【AP05-1-7】
ハンドブック（宇野）：改定作業状況を報告。各章の担当委員を選定、改定内容案を策定中。
出版予定はいつか？（佐藤）→ 06年12月を目標としている。今年8月ごろに関係者に執筆依頼が行くのでご協力願いたい（宇野）。
- (vi) AP 歴史委員会報告（高橋）
今回は旭川にて委員会開催予定。
- (vii) 通信ソサイエティ運営委員会報告（高橋）
通ソが赤字に転落。学会全体の会員が減少。
- (viii) 通信ソサイエティ独立化タスクフォース・研専アドホック報告（堀）
次回から研専運営会議からの報告となる。論文誌以外の大会、研究会を担当。6月22日に規約を決定。活動状況が芳しくない研究会の存続可否など含めて議論する会議。
- (ix) 第三種研「人体電磁ファントム研究会」報告（高橋） 【AP05-1-8】
- (x) 第二種研「マイクロ波シミュレータ研究会」報告（高橋） 【AP05-1-9】
- (xi) 通ソ活性化基金活用報告（長） 【AP05-1-10】
アーカイブトライアル作成（新井）、専門委員に配布。古い技報を追加し、完全なものにしたい。東北大にある模様で協力を要請する（高橋）。
技報は2年間WEB公開しないことになっているので、取り扱い注意（新井）。
- (xii) ISAP 国際会議委員会報告（安藤） 【AP05-1-11】
国際会議委員会体制が変更（委員長：手代木）。
06年シンガポール、07年新潟、08年オーストラリアで調整中。
06年シンガポールについては、信学会（ISAP国際委員会）が資金援助をするのが濃厚。シンガポールに受け入れ組織がなく、主催は信学会、運営は現地にまかせる体制が現実的。信学会の会員増にも結びつけたい。
- (xiii) ISAP2007 準備状況報告（安藤）
準備状況報告。専門委員各位の協力をお願いする。
- (xiv) 専門委員作業分担状況報告（高橋） 【AP05-1-12】
個人情報の問題があり、名簿は委員名、所属組織名のみに簡略化した。

(4) 審議事項

- (i) アドバイザリースタッフの顧問昇格について 【AP05-1-02】
AP研委員長、IEEE AP-S Japan Chapter Chair 経験者の区別なく、55歳以上になれば



電子情報通信学会 アンテナ・伝播研究会 専門委員会

ば自動的にA P 研顧問になる従来の仕組みに戻すことで承認。

(ii) 2005 年度第一種研究会予算案 **【AP05-1-13】**

支出を一種研に統一できないか（安藤）→ 検討する（高橋）。
予算案は承認。

(iii) アンテナ・伝播研究会 2005 年度実施計画 **【AP05-1-14】**

原案通り承認。

なお、研究会に共催はなくなりすべて併催となり、A P 研単独では3月のY R P 会場費が捻出できない可能性がある。その場合は大学での開催を視野に入れる（高橋）。

併催で技報はどうなるのか？（和田）→ 研究会ごとの技報となり、重複がなくなり値段が下がる（新井）。

電子投稿システムを導入し、A P 研への投稿は電子投稿でお願いします。文字化けは著者の責任とするので、注意願いたい（高橋）。

(iv) 2006 年総合大会シンポジウム/チュートリアル講演等計画 **【AP05-1-15】**

計画、アンケート結果報告（岩井）：

06年総合大会テーマ案報告（宮下）：チュートリアル、「メタマテリアルの特性とアンテナへの応用」を通ソへ提案することで承認。

(v) アンテナ・伝播研究会 長期計画 **【AP05-1-16】**

06年8月は新潟大 朱鷺メッセ（会場幹事：山田）で決定。I S A P 会場下見を兼ねる。日程を近日確定願いたい（山田）→ 連絡する（高橋）。

06年度以降の計画は12月の専門委員会で正式決定だが、調整期間を見て10月までに幹事に提案いただきたい。これまでの時期と開催地の慣例にとられないので、積極的に新提案をお願いしたい。

(5) その他

以下の項目はA P 研 HP にて報告した。（2）についてはメール審議の結果、承認された。

- (1) 2005 年総合大会シンポジウム開催報告（ブロードバンドワイヤレスにおける電波伝搬）
- (2) A P 研専門委員・幹事・副委員長任期規程

IEEE AP-S Japan Chapter より（宇野）：

IEEE AP-S Fukuoka Chapter が発足したと聞いたが Japan Chapter に事前相談がなかった。横通しや日本としての体制整備のため今後は事前連絡・調整をお願いしたい。なお、AP-S JC として新 Chapter 発足は Welcome である。

委員会構成：大平委員は引継ぎ猶予期間を見て9月まで暫定的に専門委員とする。それまでに後任提案なければポスト抹消となる（高橋）。

専門委員は国内に限らないので、海外の方も推薦していただきたい（安藤）。

以上

2005年度アンテナ・伝播研究専門委員会構成

区分	氏名	所属 〒 所在地	TEL E-mail	FAX	任期 ～まで
1	専門委員長 安藤 真	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S3-19	03-5734-2563 mando@antenna.ee.titech.ac.jp	03-5734-2901	07.5
2	副委員長 堀 俊和	福井大学工学部情報・メディア工学科 〒910-8507 福井市文京3-9-1	0776-27-8769 hori@m.ieice.org	0776-27-8751	07.5
3	幹事 高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33	043-290-3498 masa@ieee.org	043-290-3327	06.5
4	幹事 宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部 〒247-8501 鎌倉市大船5-1-1	0467-41-2533 Miyashita.Hiroaki@ab.MitsubishiElectric.co.jp	0467-41-2419	07.5
5	幹事補佐 山本 学	北海道大学 大学院情報科学研究科 メディアネットワーク専攻 〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目	011-706-6525 yamamoto@ice.eng.hokudai.ac.jp	011-706-6525	06.5
6	専門委員 新井 宏之	横浜国立大学大学院 電気電子ネットワーク 〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5	045-339-4260 arai@ynu.ac.jp	045-338-1157	06.5
7	専門委員 岩井 誠人	同志社大学工学部電子工学科 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3	0774-65-6267 hisaiwai@mail.doshisha.ac.jp	0774-65-6807	08.5
8	専門委員 臼井 英之	京都大学 生存圏研究所 〒611-0011 宇治市五ヶ庄	0774-38-3817 usui@rish.kyoto-u.ac.jp	0774-38-3817	07.5
9	専門委員 神谷 幸宏	東京農工大学工学部電気電子工学科 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7061 ykamiya@cc.tuat.ac.jp	042-388-7061	07.5 新任
10	専門委員 坂口 浩一	日本大学生産工学部電気電子工学科 〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1	047-474-2376 ksakaguc@ee.cit.nihon-u.ac.jp	047-474-2399	08.5
11	専門委員 佐々木正巳	北海道工業大学福祉生体工学科 〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1	011-688-2231 msasaki@hit.ac.jp	011-681-3622	07.5
12	専門委員 佐藤 和夫	(株)豊田中央研究所 フロンティア研究部門 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町長湫横道41-1	0561-63-4698 ksato@mosk.tytlabs.co.jp	0561-63-6507	07.5
13	専門委員 榊原 久二男	名古屋工業大学 ながれ領域 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町	052-735-5416 sakas@m.ieice.org	052-735-5416	08.5
14	専門委員 関根 秀一	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー 〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1	044-549-2284 shuichi.sekine@toshiba.co.jp	044-520-1806	07.5 新任
15	専門委員 田中祥次	NHK放送技術研究所無線伝送方式 〒157-8510 東京都世田谷区砧1-10-11	03-5494-3465 tanaka.s-gw@nhk.or.jp	03-5494-3208	08.5
16	専門委員 田中 正人	情報通信研究機構 電磁波計測部門 〒184-8795 小金井市貫井北町4-2-1	042-327-7608 masato@nict.go.jp	042-327-5608	07.5 新任
17	専門委員 長 敬三	NTTドコモ 電波研究室 〒239-8536 横須賀市光の丘3-5 NTTドコモ R&Dセンタ	046-840-3800 cho@m.ieice.org	046-840-6555	07.5 新任
18	専門委員 陳 強	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻青葉6-6-05	022-795-7097 chenq@ecei.tohoku.ac.jp	022-263-9223	08.5
19	専門委員 常川 光一	NTT未来ねっと研究所ワイヤレスシステムイノベーション研究部 〒239-0847 横須賀市光の丘1-1	046-859-3758 tsunekawa.koichi@lab.ntt.co.jp	046-859-3351	08.5
20	専門委員 平部 正司	NECモバイルワイヤレス事業部第四開発部 〒211-8666 川崎市中原区下沼部1753	044-455-8488 m-hirabe@ce.jp.nec.com	044-455-8490	08.5
21	専門委員 廣川 二郎	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S3-20	03-5734-2567 jiro@antenna.ee.titech.ac.jp	020-4666-9134	06.5
22	専門委員 福迫 武	熊本大学工学部電気システム工学科 〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3839 fukusako@eecs.kumamoto-u.ac.jp	096-342-3839	07.5 新任
23	専門委員 藤元 美俊	福井大学 工学部 情報・メディア工学科 〒910-8507 福井市文京3-9-1	0776-27-8913 fujimoto@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp	0776-27-8751	08.5
24	専門委員 前山 利幸	(株)KDDI研究所 特命先端研究グループ 〒356-8502 上福岡市大原2-1-15	049-278-7529 maeyama@kddilabs.jp	049-278-7521	07.5 新任
25	専門委員 松永真由美	愛媛大学工学部電気電子工学科 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3	089-927-9783 mmayumi@dpc.ehime-u.ac.jp	089-927-9783	08.5
26	専門委員 三浦 周	(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 波動工学研究所 電波研 〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2丁目2番地2	0774-95-1576 amane@atr.jp	0774-95-1508	07.5
28	専門委員 山田 寛喜	新潟大学工学部情報工学科 〒950-2181 新潟市五十嵐二の町8050	025-262-7477 yamada@ie.niigata-u.ac.jp	025-262-7477	08.5
29	専門委員 和田 修己	京都大学大学院工学研究科 電気工学専攻 〒615-8510 京都市西京区京都大学桂	075-383-2244 wada@kuee.kyoto-u.ac.jp	075-383-2245	06.5

2005年度アンテナ・伝播研究専門委員会顧問構成

区分	氏名	所属 〒 所在地	TEL E-mail	FAX	備考
1	顧問 安達 三郎	東北大学 名誉教授 〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷5-18-8(自宅)	022-251-3708(自宅) sadachi@ma.mni.ne.jp	022-251-3708(自宅)	
2	顧問 池上 文夫	京都大学 名誉教授 〒195-0061 町田市鶴川4-28-7(自宅)	0427-35-2987(自宅) fikegami@coral.ocn.ne.jp	0427-35-2987	
3	顧問 伊藤 精彦	苫小牧工業高等専門学校 〒059-1275 苫小牧市字錦岡443	0144-67-0615 itoh@office.tomakomai-ct.ac.jp	0144-67-0814	
4	顧問 稲垣 直樹	南山大学数理情報学部情報通信学科 〒489-0863 瀬戸市せいれい町27	0561-89-2000 ant@it.nanzan-u.ac.jp	0561-89-2082/2083	
5	顧問 鹿子嶋憲一	茨城大学工学部メディア通信工学科 〒316-8511 日立市中成沢町4-12-1	0294-38-5116 kagosima@dm.t.ibaraki.ac.jp	0294-38-5116	
6	顧問 片木 孝至	金沢工業大学 電気系通信システムコア 〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1	076-248-8984 katagi@neptune.kanazawa-it.ac.jp	076-294-6707	
7	顧問 喜連川 隆	三菱電機(株) 〒271-0084 松戸市二十世紀が丘丸山町17(自宅)	0473-92-0088(自宅)	0473-92-0088	
8	顧問 後藤 尚久	拓殖大学工学部情報エレクトロニクス学科 〒193-8585 八王子市館町815-1	0426-65-8589 ngoto@es.takushoku-u.ac.jp	0424-65-1519	
9	顧問 澤谷 邦男	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05	022-795-7096 sawaya@ecei.tohoku.ac.jp	022-263-9292	
10	顧問 塩川 孝泰	東北学院大学工学部電気工学科 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1	022-368-7159 shiokawa@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp	022-368-7159	
11	顧問 進士 昌明	東海大学開発工学部情報通信工学科 〒410-0321 沼津市西野317	0559-68-1111 shnj@wing.ncc.u-tokai.ac.jp	0559-68-1224	
12	顧問 関口 利男	東京工業大学 名誉教授 〒213-0005 川崎市高津区北見方2-21-9(自宅)	044-822-7737(自宅) tsekiguc@viola.ocn.ne.jp	044-822-7737	
13	顧問 高野 忠	宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究本部 〒229-8510 相模原市由野台3-1-1	042-759-8315 ttakano@radionet.isas.ac.jp	042-759-8320	
14	顧問 手代木 扶	アンリツ(株) コアテクノロジーR&Dセンター 〒243-8555 厚木市恩名1800	046-296-6581 Teshirogi.Tasuku@ff.anritsu.co.jp	046-223-1600	
15	顧問 永井 淳	(株)東芝 〒231-0839 横浜市中区仲尾台33-11(自宅)	045-623-0829(自宅) kynagai@ytv.home.ne.jp		
16	顧問 羽石 操	埼玉大学工学部電気電子システム工学科 〒338-8570 さいたま市桜区下大久保255	048-858-3478 haneishi@ees.saitama-u.ac.jp	048-854-6929	
17	顧問 平澤 一紘	東京農工大学電気電子工学科 〒184-8588 東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7145 khira@cc.tuat.ac.jp	042-388-7145	
18	顧問 藤本 京平	(財)国際科学振興財団(非常勤) 〒251-0033 藤沢市片瀬山2-16-9(自宅)	0466-28-4027(自宅) HQM11446@nifty.ne.jp	0466-28-4027	
19	顧問 船川 謙司	三菱電機(株) 〒267-0055 千葉市緑区越智町705-140(自宅)	043-295-2289(自宅) VEM01573@nifty.ne.jp	043-295-2289	
20	顧問 古濱 洋治	宇宙航空研究開発機構 〒305-8505つくば市千現2-1-1	029-868-5075 furuhamaya.yoji@jaxa.jp	029-868-5963	
21	顧問 細矢 良雄	北見工業大学工学部電気電子工学科 〒090-8507 北見市公園町165	0157-26-9281 hosoyays@mail.kitami-it.ac.jp	0157-25-1087	
22	顧問 水澤 丕雄	金沢工業大学電気電子系通信システムコア 〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇ヶ丘7-1	076-248-9645 mizusawa@neptune.kanazawa-it.ac.jp	076-294-6711	
23	顧問 虫明 康人	東北大学 名誉教授 〒981-0963 仙台市青葉区あけぼの町2-18(自宅)	022-234-0501(自宅) ymushiak@sm.rim.or.jp	022-234-0501	
24	顧問 諸岡 翼	東芝リサーチ・コンサルティング(株) 〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1番地	044-549-2280 tasuku.morooka@toshiba.co.jp	044-520-1806	
25	顧問 横井 寛	東京電機大学 〒195-0054 町田市三輪町31-11(自宅)	044-988-1656(自宅) h-yokoi@s2.dion.ne.jp	044-988-1656	

顧問会規定 (1996.12専門委員会承認)

- ・ 専門委員長経験者の内、満55歳以上の方
- ・ 平成9年度以前のIEEE AP-S Japan Chapter Chairpersonの経験者で満55歳に達した方
- ・ 上記Chairperson事項の年度制限は、2005.6に撤廃

アンテナ・伝播研究会 2005年度運営報告

開催日	予定件数 (実績)	開催場所	テーマ	共催	併催・協賛	会場世話人 (敬称略)	備考	大会・国際会議等
4/21(木)	10(8)	立命館大	一般	IEEE AP-S		前田 (立命館大)		
5/19(木) 5/20(金)	20(21)	鳥取環境大	一般	IEEE AP-S, URSI-F	SAT研(併催)	秦野 (鳥取環境大)		・5/30-6/1 VTC Spring ・URSI-B ?
6/23(木)	6(6)	機械振興会館	一般	IEEE AP-S		高橋 (千葉大)	・専門委員会、 顧問会	・6/15-17 ANTEM ・MTTS?
7/20(水)~ 7/22(金)	35(27)	層雲峡	一般	IEEE AP-S, URSI-F	SAT研(併催)	大島(旭川高 専) 森下(防衛大)		・7/3-8 APS
8月	休会 (ISAP05開催のため)							・8/3-5 ISAP04
9/8(木)~ 9/9(金)	10(18)	豊田中研	一般	IEEE AP-S	SPS研(併催)	佐藤 (豊田中研)		・9/20-23 ソサイエティ大会. ・9/18-22 WPMC. ・IGRASS ? ・VTC Fall ?
10/20(木) ~10/21 (金)	36(28)	秋田県立大学	アダプティブアンテナ、 MIMOおよび無線信 号処理技術、一般	RCS研 IEEE AP-S URSI-F		阿部 (秋田県立大)		・European Microwave Conf. ? ・PIERS ?
11/17(木)	6(5)	日本大学	一般	IEEE AP-S		坂口 (日本大)		
12/15(木)	6(13)	東工大	一般	IEEE AP-S		広川 (東工大)	・専門委員会、 顧問会	・12/4-7 APMC
1/26(木) 1/27(金)	20(31)	福岡工業大	アンテナ設計解析 技術、一般	IEEE AP-S, URSI-F		松永 (福岡工大)		
2/16(木)	10	東芝	一般	IEEE AP-S		関根 (東芝)		
3/1(水)~ 3(金)	35	YRP	移動通信WS	RCS研、MW研、 MoMuC研、SST 研、IEEE AP-S		RCS研幹事		・3/24-27総合大会

年間予定件数/176件(1092頁)

2005.11.30

2005 年度第一種研究会中間報告書			
専門委員会の名称	アンテナ・伝播研究専門委員会		
専門委員長名 (所属)	安藤 真 (東京工業大学)		
幹事名 (所属)	高橋 応明 (千葉大学) 宮下 裕章 (三菱電機)		
報告期間	2005 年度 (2005.4.1～2005.11.30)		
収入	第1種 研究会	前年度繰越金	29,688
		05 年度活動費	150,000
		銀行利息	5
	小計		179,693
	第2種 研究会	前年度繰越金	1,809,928
		WS-31 剰余金	170,228
WS-R8 剰余金		146,222	
小計		2,126,378	
合計		2,306,071	
支出	第1種 研究会	研究会受付アルバイト代	36,500
		研究会運営費(会場費、茶菓等)	37,820
		特別講演補助	30,000
		プログラム編成委員会補助	11,480
		事務費 (通信費・雑費・手数料)	19,675
	小計		135,475
	第2種 研究会	テキスト郵送費	5,380
		WS-32&33 活動準備金	200,000
		論文誌別刷代(英文、和文)	1,086,750
		WS 常設委員会運営費	42,000
		論文委員会活動費	65,930
出版委員会活動費		165,032	
国際委員会活動費		43,500	
歴史委員会活動費	24,900		
研究会運営補助	130,227		
小計		1,763,719	
合計		1,899,194	
残高 (次年度繰越金)	第1種研究会	44,218	
	第2種研究会	362,659	
	合計	406,877	

備考：①二種研 WS の決算報告は個別に通ソへ報告。

②二種研の剰余金管理もしくは不足分対応はアンテナ伝播研究専門委員会が行う。

第2種研究会常設委員会報告

(1) 2005年度ワークショップ常設委員会委員構成

区分	氏名	所属	任期	備考
委員長	唐沢 好男	電気通信大学	07/05	
幹事	長 敬三	(株)NTTドコモ	07/05	
委員	岩井 誠人	同志社大学	07/05	
委員	岩田 龍一	アンテン株式会社	07/05	
委員	榊原久二男	名古屋工業大学	07/05	
委員	佐藤 和夫	(株)豊田中研	07/05	
委員	庄木 裕樹	(株)東芝	07/05	
委員	高橋 応明	千葉大学	06/05	
委員	陳 強	東北大学	07/05	
委員	藤元 美俊	福井大学	07/05	
委員	宮下 祐章	(株)三菱電機	07/05	
委員	山本 学	北海道大学	06/05	
委員 事務局担当	広川 二郎	東京工業大学	WS 実行委員会(再開催を含む)事務局が東工大に設置されている期間	
オブザーバ	宇野 亨	東京農工大学	06/12	IEEE AP-S Japan Chap. Chair

- AP 研役員は先任幹事(会計)および幹事補佐(広報)が入ることとする。
- 高橋委員の後任には堀俊和氏(福井大学)にお願いする。

(2) WS-31 開催報告(詳細別紙1, 2)

- 会場: 東京工業大学 デジタル多目的ホール
- 講師: 鈴木康夫(東京農工大)
- 日時: 2005年5月26日(木) 9:30~17:00
- テーマ: マイクロストリップアンテナの解析と設計
- 開催形態: アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制: 唐沢好男(委員長), 新井宏之(総務幹事), 堀俊和(企画幹事), 広川二郎(会場幹事)
- 実行委員: 羽石(埼玉大), 田口(長崎大), 伊藤(公)(千葉大), 山本(北大), 坂口(日大), 関(NTT), 高橋(三菱), 田中(NICT), 庄木(東芝), 宮下(三菱), 広川(東工大)

(3) 第8回再開催WS開催報告(詳細別紙3)

- 日時: 2005年10月13日(木)
- 場所: 東京工業大学百年記念館3F フェライト会議室
- テーマ: アンテナ測定法の基礎と実際(3) 講師: 手代木扶(アンリツ(株))
- 開催形態: IEEE AP-S Japan Chapter, AP 研共催

(4) 第2種研究会開催計画

WS-32 (詳細別紙4, 5)

- 日時: 2006年4月28日
- 会場: 東京工業大学 デジタル多目的ホール
- テーマ: 小形アンテナの基礎と実際
- 講師: 森下久 (防衛大)
- 開催形態: アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制: 堀俊和 (委員長), 山本学 (総務幹事), 宇野亨 (企画幹事), 広川二郎 (会場幹事)
- 実行委員: 新井 (横国大), 石井 (新潟大), 小柳 (PMC), 佐藤 (豊田中研), 関根 (東芝), 田口 (長崎大), 平田 (名工大), 廣瀬 (産総研), 深澤 (三菱電機), 本間 (NTT), 前田 (立命館大), 山口 (NTTドコモ)

WS-33 (詳細別紙6)

- 日時: 2006年6月15日, 16日 (予定)
- 講師: 山田寛喜 (新潟大)
- テーマ: スーパーレゾリューション
- 開催形態: アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制: 唐沢好男 (委員長), 長敬三 (総務幹事), 菊間信良 (企画幹事), 広川二郎 (会場幹事)
- 実行委員: 市毛 (横国大), 宇野 (農工大), 大館 (東芝), 岡村 (三菱電機), 小川 (北大), 桑原 (静岡大), 阪口 (東工大), 佐藤 (京大), 鷹取 (NTT), 辻 (NICIT), 藤元 (福井大), 外園 (防衛庁)
- 本WSは中級コースの位置づけとし16日に講演、入門部分を菊間信良氏 (名工大) が15日講演することとする (テキスト作成はなし, 発表OHPを配布)
- 両講師の講演はセットとして、受講料は1日分の1.5倍とする。片方だけの受講選択は不可とする。(事務局稼働の都合)

WS-34

- 会場: 東京を予定
- 講師: 堀俊和 (福井大)
- 日時: 2007年春 (予定)
- テーマ: アレーアンテナの基礎
- 開催形態: アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- 実行体制: 鈴木康夫 (委員長), 陳強 (総務幹事), 宮下裕章 (企画幹事), 広川二郎 (会場幹事)
- 実行委員: 未定

今後のWSとして、アンテナ・伝搬の基礎を対象とするシリーズの提案があった。
(大学院入学時または企業のアンテナ・伝搬関連技術者の導入研修等をイメージ)
本企画については、少数メンバで議論の上案を作成し、次回のWS常設委員会で議論する。

アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ（再開催第 8 回）報告

IEEE AP-S Japan Chapter

Chair 宇野 亨

- ◆ 日時： 2005 年 10 月 13 日（木） 9：45～17：00
- ◆ 会場： 東京工業大学 百年記念館 3 階 フェライト会議室
- ◆ タイトル：アンテナ測定法の基礎と実際
- ◆ 講師： 手代木 扶 氏（アンリツ（株））
- ◆ 受講者数：78 名（一般：62 名，学生 16 名）

◆ 収支：

収入		人 数	単 価	
会員種別	一般・会員	47	¥10,000	¥470,000
	一般・非会員	15	¥15,000	¥225,000
	学生・会員	14	¥3,000	¥42,000
	学生・非会員	2	¥5,000	¥10,000
合計		78		¥747,000

支出		
会場費（当日ケータリングを含む）		¥51,735
テキスト・資料印刷代		¥112,148
講師手当て（補助者を含む）		¥140,000
委員会費		¥42,049
事務局経費（アルバイト代，通信費，雑費）		¥108,624
合計		¥454,556

残金	¥292,444
IEEE APS Japan Chapter へ	¥146,222
IEICE AP 研へ	¥146,222

◆ アンケート結果について

講義に対する満足度は高かった。また、再開催を含め、ワークショップに対して非常に興味をもっている人が多く、次のワークショップもぜひ参加したい意見が多かった。

◆ 次回開催希望

解析法やアダプティブアレーアンテナなど開催希望が比較的多かった。

第二種研究会活動報告書

2005年5月26日

委員会の名称 [整理番号]

<第二種研究会> アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第31回)実行委員会

委員長名(所属)

唐沢 好男(電気通信大学)

幹事名(所属)

新井 宏之(横浜国大), 堀 俊和(福井大), 廣川 二郎(東工大)

研究会活動(名称、開催日時、開催場所、発表者、発表形式、参加者数、共催学協会、その他)

名称 : アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ(第31回)
「マイクロストリップアンテナの解析と設計」

開催日時 : 2005年5月26日(木) 9:30~17:00

開催場所 : 東京工業大学 デジタル多目的ホール

発表者(講師) : 鈴木 康夫(東京農工大学)

発表形式 : 受講者に対する集中講義(テキスト、PC プロジェクト)

参加者数 : 115名(受講者:95名、講師:1名、実行委員:17名、アルバイト:2名)

共催学協会 : 電子情報通信学会 アンテナ・伝搬研究専門委員会

その他(特に付記したいことが有ればご記入下さい)

移動体通信を含め多様な応用分野を見出しつつある MSA の解析と設計法を習得することを目的とする。
以下の内容に沿って講義が進められた。

- (1)MSA に対する各種設計法とその比較
- (2)モード展開法による多端子任意形状 MSA の解析
- (3)MSA の設計手法(広帯域化技術)
- (4)MSA の円偏波励振(給電法と広帯域化)
- (5)その他(各種応用事例)

事前に多くのテキスト審議,発表形式審議を行い,予定通りに講義は終了した。活発な質疑が行われ,受講者の評判も良く,本ワークショップの目的は達成されたものと考えられる

連絡先 および 資料保管先(氏名,所属,TEL,FAX,E-mail)

新井宏之 横浜国立大学大学院 工学研究院 電気電子ネットワーク

TEL:045-339-4260、FAX:045-338-1157、E-mail:arai@ynu.ac.jp

添付資料 1.発表題目一覧(第二種研究会名、専門委員長名、開催日時、開催場所、資料番号、
発表題目、発表者氏名、所属)をまとめて添付すること。

2.決算報告書を添付すること。

別紙 2

WS-31 収支簿

2004年5月26日

収入		単価	人数	合価	備考
受講料	一般・会員	13,000	50	650,000	
	一般・非会員	20,000	13	260,000	
	学生・会員	3,000	29	87,000	
	学生・非会員	7,000	3	21,000	
AP研からの借り入れ				100,000	
収入計			95	1,118,000	

支出

会場費		24,657		
テキスト印刷費		203,895		
講師手当	講師料	70,000		
	テキスト作成費	100,000		
デモ機材運搬費				
委員会費		214,638		
事務局経費	事務費	114,000		1200円×95名
	アルバイト	144,210		
	郵送料	50,585		
手数料・雑費	税金	18,888		
	雑費	6,899		テキスト代振込料等
支出計		947,772		

収支

収入-支出	170,228	AP研への返却
-------	---------	---------

第 32 回 WS 活動報告

2004.11.24

総務担当幹事 山本 学

(1) WS32 の概要

- ・ 講師：森下 久（防衛大）
- ・ テーマ：小形アンテナの基礎と実際
- ・ 開催形態：アンテナ・伝播研究専門委員会主催
- ・ 会場：東京工業大学 デジタル多目的ホール
- ・ 日時：2006 年 4 月 28 日（金）9:45～16:45
- ・ 定員：120 名
- ・ 受講申込期間： 2006 年 1 月 11 日（水）～ 2 月 28 日（火）
（先着順：満員になり次第締め切り）

(2) 活動状況

- ・ 第 1 回テキスト審議：9 月 19 日（月）13:30～17:00 北海道大学にて実施
テキスト構成の再検討が必要と判断されたため、提出されたテキストの内容を踏まえて、シラバスの見直しを行った。
- ・ 第 2 回テキスト審議：11 月 11 日（金）14:00～18:00 東京工業大学にて実施
修正版テキストの審議を行った。その結果、テキスト完成の目途がついたため、上記 (1) の概要で WS32 を開催することを決定するとともに、開催までのスケジュールを確認した。

(3) 今後のスケジュール

- ・ 2006 年 1 月号の学会誌に掲載されるように募集案内を出す。（原稿締切：11/25）
- ・ 第 2 回テキスト審議での議論を踏まえた再修正版テキストの提出締切を 2006 年 2 月 13 日（月）とし、同日から 2 月 27 日（月）までの期間に第 3 回テキスト審議をメール審議で実施する。
- ・ テキスト最終原稿の印刷・製本業者への入稿は 3 月 13 日（月）とする。
- ・ 受講者へのテキスト発送は 3 月下旬の予定。
- ・ 発表形式審査：4 月上旬～中旬に実施予定。

以上

2005/11/5

別紙5

[S-20-5.1]

第二種研究会アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ
第32回WSスケジュール

	3月	4月～8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
学会 スケジュール	総合大会【大阪大学】 (3/21-24) AP研[YRP] (3/2-4)		ソサイエティ大会 【北海道大学】 (9/20-23) AP研【豊田中央研究所】 (9/8)	AP研【秋田県立大学】 (10/20-21)	MWE(11/9-11) AP研【日本大学】(11/17)	APMC【中国】(12/4-7) AP研【東工大】(12/15)	AP研【福岡工業大学】 (1/26-1/27)	AP研【東芝】 (2/16)	総合大会【国士舘大学】 (3/24-3/27) AP研[YRP] (3/1-3/3)	AP研【東北大】 (4/20)
常設委員会		第19回(5/25)			第20回(11/24)					
委員会	第1回委員会 シラバス審議(3/28)		テキストメール審議 (8/31～9月中旬) 第2回委員会 第1回テキスト審議(9/19)		テキストメール審議 (10/31～11/10) 第3回委員会 第2回テキスト審議(11/11)					第4回委員会 発表形式審議 (4月上旬～中旬) 講義(4/28) 反省会
総務関連 (山本幹事)	実行委員決定 (2月中旬) 第1回委員会招集	実行委員会中間報告 (5/25) 第2回委員会招集 (8月下旬)		第3回委員会招集 (10月下旬)	状況報告(11/11) 実行委員会中間報告 (11/24) 学会誌案内原稿 (11/25締切)		AP研WebとMLで案内 (1月上旬)		受講者確認 会場アンケート準備 第4回委員会招集	活動・決算報告書 ソサイエティ活動報告 実行委員会報告 (5月の常設委員会)
企画関連 (宇野幹事)	シラバス受領(3/14) 事前メール審議 シラバス審議(3/28)	<テキスト作成補助>	テキスト下書受領 電子メールで委員に発送 (8/31) 第1回テキスト審議 (9/19)	<テキスト修正補助>	テキスト修正版受領 電子メールで委員に発送 (10/31) 第2回テキスト審議 (11/11)	<テキスト修正補助>	<テキスト修正補助>	テキスト再修正版受領 委員に発送 (2/13) テキストメール審議 (2/13～2/27)	最終テキスト受領 (3/13)	反省・まとめ
会場関連 (廣川幹事)			会場確保		準備状況報告	会場事前準備 必要物品手配	会場事前準備 必要物品手配	会場事前準備 必要物品手配	会場案内資料作成	会場準備・受付 反省・まとめ
事務局 (東工大)							受講申込受付 (1月上旬～2月下旬)	最終締切 受講者名簿作成 申込時アンケートまとめ 入金確認	宛名ラベル作成 領収書作成 テキスト印刷・発送 (3月下旬)	配布資料印刷 会場アンケートまとめ
講師 (森下先生)	シラバス作成 シラバス提出(3/14)	<テキスト作成> テキスト下書提出(8/31)	<テキスト修正>	<テキスト修正> テキスト修正版提出 (10/31)	<テキスト修正>	<テキスト修正>	<テキスト修正>	テキスト再修正版提出 (2/13)	テキスト最終版提出 (3/13) 講義スライド作成	WS32講義(4/28)
受講者							受講申込	受講申込	テキスト受領(3月下旬)	WS32講義(4/28)
学会誌					案内原稿締切(11/25)					

WS33 進捗報告

2005.11.24

文責：総務担当 長

WS33 の進捗状況は下記のとおり

体制（敬称略）：

講師：山田（新潟大）

委員長：唐沢（電通大） 総務幹事：長（NTTドコモ）

企画幹事：菊間（名工大）会場幹事：広川（東工大）

委員：市毛（横国大）、宇野（農工大）、大舘（東芝）、岡村（三菱電機）、小川（北大）、
桑原（静岡大）、阪口（東工大）、佐藤（京大）、鷹取（NTT）、辻（NICT）、
藤元（福井大）、外園（防衛庁）

2005.10.19(水)にシラバス審議を実施

決定事項：

シラバスについて

WS は中級をイメージし、到来方向推定の基礎については聞いたことがある方を対象とする。（前日に菊間先生の初級編の再開催をセットで行う方向で調整中）

内容としては、理想的な環境での動作だけでなく、実際の環境において到来方向推定を行う際に何を考慮しなければならないのかを本講義でわかるというスタンスで構成する。

タイトル案としては “アレーアンテナを用いた高分解能到来方向推定法” / “スーパーレゾリューション到来方向推定法” などが出され、上記の案をもとに講師が再考察する。

スケジュールについて

1 / 1 2 : 講師テキスト案締め切り

1 / 1 9 : 第 2 回実行委員会（ここでの審議結果で募集の可否判断）

3 / 1 : 募集開始

6 / 1 6 : WS 本番

参考：シラバス案 概要

【講義の概要】

近年，MUSIC 法や ESPRIT 法などのアレーアンテナを用いた高分解能な到来方向推定手法は，単なるセンシングを目的としたレーダシステムのみならず，通信を含めた様々な無線システムにおける応用が進められている．

このような高分解能到来方向推定手法は，スーパーレゾリューション法と総称される．スーパーレゾリューション法としては，数多くの手法が提案されており，実際の適用においては目的に合った手法の選択が重要である．また，分解能特性がデータに依存するため，古典的なビームフォーマに比べ，分離可能限界を評価することが難しいという問題がある．本講義では，スーパーレゾリューション法における代表的な手法の概要とその特徴，および，これらの手法の分解能限界の指標となるクラメルラオの下界など，統計学的な取り扱いの基礎を解説する．更に，実際の適用の際に問題となるアレーアンテナのキャリブレーションについても解説する．

- 1．はじめに
- 2．アレーアンテナの基礎
- 3．古典的到來方向推定法
- 4．部分空間の概念に基づくスーパーレゾリューション法
- 5．最尤推定原理に基づくスーパーレゾリューション法
- 6．各手法の特徴と分解能特性
- 7．関連手法と拡張
- 8．アレーアンテナのキャリブレーション
- 9．まとめ

付録：クラメルラオの下界 スーパーレゾリューション法の分解能限界 の詳細

A P 研論文委員会報告

1. 2005 年度委員構成

区分	氏名	任期	備考
委員長	安藤真	07.05	
幹事・委員(和文)	岩井誠人	07.05	和文論文誌 B 編集委員
委員(和文)	長敬三	09.05	和文論文誌 B 編集委員
委員(和文)	宇野亨	07.05	和文論文誌 B 編集委員
委員(和文)	森下久	07.05	和文論文誌 B 編集委員
委員(和文)	村田孝雄	06.05	和文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	堀俊和	06.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	庄木裕樹	06.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	野本真一	08.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	神谷幸宏	08.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	市坪信一	06.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	廣川二郎	07.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(英文)	山口良	07.05	英文論文誌 B 編集委員
委員(和文)	菊間信良	07.05	和文論文誌 B 副編集委員長
委員(英文)	山田寛喜	07.05	英文論文誌 B 副編集委員長
委員	新井宏之	06.05	通ソ編集会議副編集委員長
委員	井上隆	07.05	通ソ編集会議副編集委員長
委員	高橋応明	06.05	研究会幹事
委員	宮下裕章	07.05	研究会幹事
委員	山本学	06.05	研究会幹事補佐

2. 英文論文誌編集委員会報告(山口委員)

(1) 編集状況

- ・ 投稿件数 論文 442 件 レター 318 件 (2005 年 1~8 月実績) 合計予想 1,140 件?
(前年合計 1,084 件 前年比 105.2%?)

※ 7/1 から「著者のうち 1 名は会員でなければならない」規約が適用されたが、大きな変化はない (6 月 99 件, 7 月 73 件, 8 月 95 件)

- ・ 国別投稿 2005 受付 韓国 39.4% 日本 26.0% 中国 14.2%
2004 受付 韓国 34.8% 日本 24.9% 台湾 15.2%
2003 受付 韓国 35.3% 日本 27.2% 台湾 15.8%
- ・ 採録率 2004 受付 論文 30.4% レター 43.6%
2003 受付 論文 33.2% レター 49.6%
2002 受付 論文 38.4% レター 56.9%

(2) 議題

- ・ 運営方針
編集に係わる事例の認識統一, 審議を主に行う

軽微、至急な案件は幹事団で判断し編集委員会で事後報告とする

緊急案件や特集号承認はメール審議とする（過半数必要なので必ず回答を）

- ・ 通信ソサイエティ編集会議規程の策定（平成 17 年 6 月 30 日制定）

「通信ソサイエティ編集会議規程」全文は論文管理ウェブのエディタツール参照

- ・ 英文論文誌編集委員会内規の改定

改定理由・方針 組織変更を反映すること

和文誌との整合をとること

現運用との乖離をなくすこと

内容 ①「通ソ運営委員会」→「通ソ編集会議」などの文言

②編集委員の守秘義務に関する記述の加筆

③「できるだけ年間 2,3 件、多くても 5 件以内・・・, レター 3 件は論文 1 件・・・」→「同一査読者への割当は、できるだけ集中しないように、割当の平均化を図る」

④「FAX」「コピー1部」などを削除

⑤その他 詳細・全文は論文管理ウェブのエディタツール参照

- ・ 査読者への謝意について

査読者への感謝状の文章がそっけないため手厚い感謝文に変更する

査読結果受領の感謝メールを別途編集委員から直接送信するように周知した

必要であれば感謝メールの自動送信も検討する

- (3) 問題投稿の対応, 罰則について

- ・ 採録決定後の大幅な改変 (2 件)

採録を取り消し不採録とし再投稿を求めた 当事者は知らなかった旨弁明

(対策) 投稿のしおりに注意書きし最終投稿チェックリストに明記する

抜打ち調査 30 件では該当案件はなし 頻度は低い模様

- ・ 3 重投稿著者へ

掲載論文の取り消しを通知・公告を行う

オンラインジャーナルからの削除

宣誓文の提出を求める処置

- (4) 報告事項

- ・ 「通ソ活動功労賞」が新設

和・英合同で 30 名推薦・受賞 (ソ大・北大にて)

- ・ 論文賞選定委員会

時期を早めて活性化する

編集委員に推薦の実施と積極的参加を呼びかけた

- ・ Selected Paper について

英文誌 B の既掲載論文の中からトピック毎に選択し Taylor&Francis から出版

第 1 版(900 頁)は出版済み (第 1 版の分冊版を第 2 版として出版する予定)

今後はシリーズ化したい 売上げの一部は IEICE に

- ・ 和文論文誌 Abstract 書式変更
ページ数削減, 支出削減 (4分冊で年間16万円強の実績)
- ・ Information for Authors の改定
「6ヶ月を超えた場合は取上げて他誌へ投稿ができる」旨の記述を削除
- ・ 英文誌 A の罰則規定
①最長1年間の投稿禁止 ②重投稿先に対する通告 ③罰則は著者全員に科す
(編集委員長挨拶) 悪質な著者が増加しているので編集委員の協力が必要である

3. 和文論文誌編集委員会報告(森下委員)

(1) 2005年和文論文誌 B(一般投稿論文)投稿及び採録件数のまとめ

[1] 2005年投稿件数

分冊	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総件数
B(一般)	論文 (P)	10	8	21	17	13	19	16	15	11	13			143
	レター(L)	4	3	5	5	3	8	3	4	1	4			40
	招待(I)	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0			2
	解説(S)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1			2
	研究会推薦(T)	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0			2
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
B(特集)	論文 (P)	49	8	0	0	0	23	27	16	8	42			173
	レター(L)	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2			6
	招待(I)	0	4	0	1	0	2	0	0	0	0			7
	解説(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1
	研究会推薦(T)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0			1
累計	論文	59	22	37	18	14	46	43	31	20	59	0	0	349
	レター	7	3	5	5	3	9	3	4	1	6	0	0	46

[2] 2005年採録件数

分冊	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総件数
B(一般)	論文 (P)	11	10	11	10	12	15	10	16	6	8	5	5	119
	レター(L)	2	4	0	7	4	1	2	2	2	5	0	5	34
	招待(I)	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4
	解説(S)	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B(特集)	論文 (P)	20	0	8	0	0	0	8	0	18	10	9	0	73

	レター(L)	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	招待(I)	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	2	0	7
	解説(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計	論文	31	12	19	11	13	15	18	16	28	19	16	7	205
	レター	3	4	0	7	4	1	2	2	4	5	0	5	37

(参考)2004 年投稿件数

分冊	種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総件数
一般	論文 (P)	24(6)	15(3)	20(5)	22(3)	17(3)	15(1)	19(3)	20(1)	17(3)	0	0	0	169
	レター(L)	5(1)	4(1)	4(1)	9(2)	1(0)	3(0)	5(2)	11(2)	2(0)	0	0	0	44
	招待(I)	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	解説(S)	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
	研究会推薦(T)	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特集	論文 (P)	52(29)	0	0	3	25	25	0	0	0	0	0	0	105
	レター(L)	2(2)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	招待(I)	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
	解説(S)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研究会推薦(T)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サーベイ論文(R)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計	論文	77	16	25	26	43	42	22	21	17	0	0	0	287
	レター	7	4	4	9	2	3	5	11	2	0	0	0	47

(2) 特集号状況報告

発行年月	特集号名	採録件数 投稿件数	備考
17-01	高い費用効果をめざした衛星システム・要素の設計・評価技術	$\frac{20}{27}$	—
17-03	次世代ネットワークソフトウェア	$\frac{8}{26}$	—
17-07	ネットワークオペレーションと資源管理	$\frac{8}{14}$	—
17-09	ブロードバンドワイヤレスのためのアンテナ・伝搬技術	$\frac{18}{26}$	招待論文 4 件
17-10	インターネットアーキテクチャ技術	$\frac{10}{24}$	招待論文 1 件
17-11	ユビキタス・サービスを支えるネットワーキング技術	$\frac{9}{25}$	招待論文 2 件

18-02	国際標準に向けたテレコム技術とその効用	$\frac{13}{28}$	招待論文1件
18-04	ネットワークソフトウェア	$\frac{11}{27}$	第2回査読中
18-05	情報通信システムを支えるエネルギー・エレクトロニクス技術	$\frac{11}{13}$	第1回判定済み
18-06	無線アドホック・マルチホップネットワーク	投稿件数23件	第1回査読中 招待論文2件
18-07	観測・計測・探査における電波応用の最新技術	投稿件数 30 件	第1回査読中 招待論文2件
18-08	シームレス通信サービスのためのネットワーキング技術	投稿募集中	
18-09	無線応用システムの進展と多様化を支えるアンテナ・伝搬の設計・解析・測定技術	投稿募集中	
18-10	ブロードバンドユビキタスネットワーク時代におけるインターネットアーキテクチャ	投稿募集中	

(3) 2005 年度招待・解説論文

掲載号	種別	論文題目	著者名
Vol.J88-B No.2 pp.341 - 350	招待論文	光符号ラベルとそのフォトニックネットワークへの応用 光グリッドへのアプローチ	北山 研一
Vol.J88-B No.4 pp.709 - 717	招待論文	プリント回路基板の EMI とそのモデリング	田中 元志 萱野 良樹 井上 浩
Vol.J88-B No.9 pp.1613 - 1623	招待論文	ブロードバンド航空衛星通信用アンテナ	小西 善彦 宮崎 守泰 土谷 牧夫 牧野 滋
Vol.J88-B No.9 pp.1601 - 1612	招待論文	小形携帯端末用アンテナ:設計概念から将来展望まで	森下 久
Vol.J88-B No.9 pp.1586 - 1600	招待論文	UWB アンテナ技術:ユビキタス超高速通信のためのアンテナ伝搬評価技術と展望	前田 忠彦
Vol.J88-B No.10 pp.1900 - 1909	招待論文	NSPIXP:大規模 IX テストベッド	中村 修 加藤 朗 長谷部 克幸 森島 直人 関谷 勇司 重近 範行

(4) その他

- ・ 来年 4 月からオンラインジャーナルがデフォルトでの機関紙配布方法になる。

4. 無線応用システムの進展と多様化を支えるアンテナ・伝搬の設計・解析・測定技術」特集号報告(長委員)

◆本特集号の目的(会告内容)

最近の情報化社会におけるブロードバンド化・マルチメディア化，さらには，今後期待されているユビキタス・ネットワーク社会の実現に向けて，多様な無線通信および無線を用いる各種応用システムの実現が必要とされています。

このように高度かつ複雑な無線システムを実現していくためには，それを支える基礎として，高性能なアンテナを実現するための設計・電磁界解析技術，複雑な伝搬チャネルに対する理論解析やモデリング技術，さらにそれらを検証するための実験・測定技術など，新しい技術が必要とされています。また，リモートセンシングや光通信など，関連する他分野の技術と融合した技術分野も注目を集めており，それを実現するための新しい設計・解析・測定技術についても研究開発が進められています。

本特集号(2006年9月号)では，このような状況のもと，無線応用システムに関するアンテナ・伝搬関連分野の設計，解析，および，測定を中心として，関連する幅広い分野の最新技術に関する論文を募集することとします。

1. 対象分野

- ・ アンテナ設計・解析・測定技術
- ・ 電磁界解析技術
- ・ 伝搬チャネルの理論解析・モデル化・実験
- ・ リモートセンシングのシステム設計・実証
- ・ 光空間伝送システム，光・電波複合システム技術
- ・ アダプティブアレー・MIMO などアンテナ・伝搬を活用した通信システム技術
- ・ その他，アンテナ・伝搬の関連分野

2. 論文の執筆と取り扱い

通常の和文論文誌と同様とし，刷り上がりページ数は8ページ以内を原則とします。執筆の詳細は，毎号の和文論文誌に掲載されている「和文論文誌(B)への投稿について」もしくは，http://www.ieice.org/jpn/shiori/jb/shiori_jb.pdf を御参照下さい。

また，査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合がありますので，あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成18年1月5日(木) 必着

4. 問合せ先

長 敬三 NTTドコモ ワイヤレス研究所 電波研究室
〒239-8536 横須賀市光の丘3-5
TEL [046] 840-3800, FAX [046] 840-3796, E-mail: cho@m.ieice.org

5. 原稿送付先

(1) 郵送の場合

(社)電子情報通信学会 出版事業部 ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-22 機械振興会館別館3階
※ 原稿表紙及び封筒に「無線応用システムの進展と多様化を支えるアンテナ・伝搬の設計・解析・測定技術特集号」と朱記して下さい(コピー4部)。

(2) 電子投稿の場合

https://review.ieice.org/regist_j.aspx より登録を行って下さい。電子投稿はPDFファイルのみ受け付けます。なお、電子投稿であっても、投稿者チェックリスト・コピーライトトランスファーフォームは、論文投稿締切日 平成 18 年 1 月 5 日(木) までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 安藤真 (東工大)

幹事 長敬三 (NTT ドコモ), 岩井誠人 (同志社大)

委員 宇野亨 (農工大), 神谷幸宏 (農工大), 榊原久二男 (名工大),
関根秀一 (東芝), 高橋応明 (千葉大), 宮下裕章 (三菱電機),
山口良 (NTT ドコモ), 山本学 (北大)

◆ 招待論文について

以下 4 件の招待論文を予定 (タイトルは仮題)

- ・ 「アンテナの医療応用・人体と電磁波との相互影響」

千葉大学 伊藤公一先生

- ・ 「ポーラリメトリック合成開口レーダによるリモートセンシング」

新潟大学 山口芳雄先生

- ・ 「無線タグにおけるアンテナ技術」

千葉大学 高橋応明先生、日立製作所 上坂晃一氏

- ・ 「自動車搭載用アンテナ技術」

豊田中央研究所 西川訓利氏、トヨタ自動車 大江準二氏

◆ コラム等の企画について

本特集号では「アンテナ考学」・「コーヒーブレイク」の掲載を予定

5. 英文誌特集号テーマ選定について(幹事：岩井)

【背景】

- ・ 英文論文誌 B において 2005 年 5 月の ISAP 特集号以降の AP 関連特集号がない。
- ・ 2007 年 ISAP については、2008 年初夏頃掲載を想定して特集号企画が動き出している。
- ・ 上記を考慮すると、ISAP2007 特集号までの間に、英文誌 B で AP 関連特集号を企画すべきではないか?

【検討状況】

幾つかの観点から議論を行った。

- ・ ISAP 連動
- ・ 絞ったテーマ/広いテーマ
- ・ 特に海外からの投稿を狙った特集号

【論文委員会での議論・集約】

- ・ 毎年の ISAP について、特集号企画を行うことを念頭におき、今後の論文特集号テーマスケジュール検討を行う。ただし、海外開催の場合は個別のケースの事情があるので、毎回個別に考える。

- ・海外開催の場合には、ISAP 国際会議委員会の合意を得ることを前提とする。
- ・2007 年 7 月掲載を目指して、サーベイ論文を集めるような企画を検討する。
- ・ISAP2006 については、特集号実現の可否について現地委員会に働きかけを行う。その結果 ISAP2006 からの論文を受けることができるならば、上記の企画の中で掲載する。
- ・ISAP 国際会議委員会に、このような論文委員会の考え方を伝える。

7. 2006 年総合大会の企画について(宮下委員)

チュートリアル講演：「メタマテリアルの特性とアンテナへの応用」

希望講演日時：第一希望 3 月 25 日 (土) 午後、第二希望 3 月 26 日 (日) 午後

セッション時間：(13:00～15:45)

【詳細プログラム】

座長：宮下裕章 (三菱電機)

1. AP 研委員長挨拶 5 分 安藤 真 (東工大)
2. 「メタマテリアルとはなにか」 真田 篤志 (山口大)
3. 「メタマテリアルのアンテナへの応用」 中野 久松 (法政大)
4. 「メタマテリアルと電磁界解析」 宇野 亨 (農工大)
5. 「メタマテリアルの研究開発動向とアンテナ応用への期待」 三須 幸一郎 (三菱電機)

8. 2006 年ソサイエティ大会の企画について(幹事：岩井)

テーマ：(仮題)マルチバンドアンテナ

コーディネータ：福井大藤元先生

以上

2005.12.15

AP 研国際委員会報告

AP 研国際委員会

1. 2005 年度国際委員会委員構成
 - ・委員長：伊藤公一（千葉大）
 - ・幹事：森下久（防衛大）
 - ・幹事補佐：道下尚文（防衛大）
 - ・新井宏之（横国大）、宇野亨（農工大）、神谷幸宏（農工大）、常川光一（NTT）、陳強（東北大）、宮下裕章（三菱電機）
 - ・メーリングリスト：ap_ac-kokusai@mail.ieice.org

2. 2005 年度開催の会合
 - 第 1 回委員会（2005 年 5 月 25 日（水）、機械振興会館）
 - 第 2 回委員会（2005 年 9 月 29 日（木）、機械振興会館）
 - 第 3 回委員会（2005 年 11 月 24 日（木）、機械振興会館）

3. 2006 年度活動計画
 - (1) AP 研海外開催
 - 2007 年 2 月 オーストラリアの国内会議に AP 研協賛、運営は現地が担当。
 - 2007 年 3 月 台湾（台北）にて AP 研海外開催。
 - 今後の海外開催について
 - ・今回の開催形式を長期的に慣例化するのではなく、その都度審議する。
 - ・開催地、開催時期、開催形式などを試す。
 - (2) 第 5 回 KJJC
 - 2006 年 9 月 ソサイエティ大会前後に金沢で開催予定。
 - ・開催形態は若手研究者を主体とし、AP 研からは 10 件。発表者を国際委員会が指名する。
 - ・第 6 回以降については、見直しをする。AP 研としては、KJJC としてではなく AP 研海外開催の形態もありうる。

4. その他
 - AP 研専門委員として韓国海洋大関先生に加わってもらう案には国際委員会としても賛同する。

出版委員会報告

2005. 12. 15

出版委員会・幹事 宇野 亨

(1) 改訂アンテナ工学ハンドブック章構成

7回の委員会を経て、改訂アンテナ工学ハンドブック案が以下のように決定した。また、各章の執筆内容および執筆者（案）がほぼ決定した。

章	章タイトル	章主任 副主任	章	章タイトル	章主任 副主任
1	序論	主：澤谷	9	アンテナの信号処理	主：菊間 副：藤本
2	アンテナの基礎	主：澤谷 副：前田	10	アンテナの測定	主：手代木 副：安藤
3	給電回路	主：新井 副：大橋	11	実用アンテナ	主：堀 副：未定
4	線状・板状アンテナ	主：堀 副：未定	12	アンテナの設計・解析手法	主：宇野 副：白井
5	平面アンテナ	主：伊藤（公） 副：鈴木（康）	13	電波伝搬	主：唐沢 副：真鍋
6	開口面アンテナ	主：牧野 副：野本	14	電磁環境	主：井原 副：平
7	アンテナおよびレドームの構造・機構設計	主：伊藤（昇） 副：未定	15	データ編	主：山口
8	アレーアンテナ	主：庄木 副：未定			

(2) 今後のスケジュール

- ・ 2005. 12 末：執筆内容の微調整と執筆者の決定
- ・ 2006. 1 初旬：執筆依頼
- ・ 2006. 5 末：第1稿締切
- ・ 2006. 6 末：第1回校正
- ・ 2006. 7 初旬：最終原稿執筆依頼
- ・ 2006. 8 末：最終原稿締切
- ・ 2007. 2：出版

歴史委員会報告

2005. 12. 15

歴史委員会・幹事 宇野 亨

(1) 委員の交代

幹事補佐：高橋応明（千葉大） → 有馬卓司（東京農工大）

(2) MWE2005 歴史展示への協力

MWE2005（11/9～11，於パシフィコ横浜）における「日本のマイクロ波技術に関する歴史展示」に，歴史委員会所有のデータを提供することによって，日本のアンテナ技術歴史についての展示を行った。

(3) その他

英国のアマチュア無線家より歴史委員会に八木・宇田アンテナ，特に宇田先生の研究に関する問い合わせがあり，対応を虫明先生にお願いした。

17. 12. 15 (木)

第三種研究会「人体電磁ファントム研究会」報告

(1) 現状

現在，第4期目（2004年5月から2006年5月まで）。

委員数：35名（2005年11月30日現在）

詳細はURL <http://www.ieice.org/cs/hpem/jpn/> 参照

(2) 平成17年の会合

第23回

日時：平成17年2月17日（木）

場所：NICT

AP研との協賛、人体電磁ファントム研究会関連発表6件

第24回

日時：平成17年5月31日（火）18:00～20:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター 多目的室1（東京都港区芝浦3-3-6）

参加者：26名

議題：今年度の活動のまとめ、来年度(2005年6月～2006年5月)の活動計画など
調査研究報告

- ・原大五郎、小林岳彦（東京電機大） UWB 人体電磁ファントム材料の開発
- ・岡野好伸（武蔵工大） 半固体ファントムの開発と応用～SAR 評価とアンテナ評価～

第25回

日時：平成17年11月30日（水）18:00～20:00

場所：キャンパス・イノベーションセンター 多目的室1（東京都港区芝浦3-3-6）

参加者：24名

議題：次期の活動および体制についてなど
調査研究報告

- ・前田忠彦（立命館大学） スケールモデルファントムの電気特性と測定
- ・大西輝夫（NTT ドコモ） 次世代通信への適用を目的とした広帯域生体等価ファントムの開発
- ・加藤博和（岡山大学） 新しく開発したMRI用ファントムに関する説明

(3) 今期の活動内容

年3～4回の割合で研究会を開催し、電磁波と人体との相互作用を明らかにするための人体電磁ファントム構築に向けて、種々の基礎データを収集した。特に今後幅広い利用が見込まれるGHz以上およびkHz～数10MHz帯の周波数における問題やより人体組織に近い高精度ファントムまたは多用途ファントムに関する技術についての調査研究に配慮する。また、他の研究会との横断的な活動の一環で他の研究会との共催、協賛などを積極的に考慮し、まずはAP研と協賛で研究会を行った。

(4) 次期の活動及び体制

執行部メンバーの交代を行った上で活動内容を再検討し、新たに研究会をスタートさせたいという考えでまとまった。以下の執行部メンバー案が示された。

（敬称略）。

委員長：澤谷邦男（東北大学）

幹事：渡辺聡一（NICT）

大西輝夫（NTTドコモ）

齊藤一幸（千葉大学）

次期の活動及び体制について通信ソサエティの研専運営会議に提案することになった。

第6期マイクロ波シミュレータ研究専門委員会報告

文責：長崎大学 田口光雄

1. 活動報告

(1) 研究専門委員会

2005年9月14日(水)

2005年12月12日(月)

2. 活動報告及び計画

(1) 第5回マイクロ波シミュレータ研究会

日時：2005年9月14日(水)午後

場所：青山学院大(渋谷キャンパス)

発表6件

(2) 第2回「マイクロ波シミュレータの基礎」講習会

2005年9月14日(水)午前 マイクロ波シミュレータ研究会の前に開催

(3) 第11回マイクロ波ワークショップ

日時：平成17年12月12日(月) 9:30~17:30

会場：NTT 武蔵野研究開発センター

プログラム：

- ・「実践！シミュレータプログラミング」 塩見英久(阪大)、岡村康行(阪大)
- ・ベンダ展示・ベンダによるパネル発表会
- ・特別講演 「超高速コンピュータが切り開く原子力研究開発と未来社会」 松岡 浩(日本原子力研究開発機構)
- ・特集「EMC、シグナル・パワーインテグリティとシミュレーション」
「EMCシミュレーションのための標準モデルの開発」 高橋文博(拓大)、櫻井(日本IBM)、澁谷(拓大)
「FDTD法によるプリントボード配線の信号解析」 並木武文(富士通)
「10G-XFPモジュールの解析と設計」 吉田智暁(NTT)
「デジアナ混載LSIの雑音解析」 永田 真(神戸大学)

3. その他

なし

2005年度AP研論文委員会構成

区分	氏名	所属
委員長	安藤 真	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻
(幹事)和文B	岩井 誠人	同志社大学工学部電子工学科
和文B	長 敬三	株式会社NTTドコモ 無線システム開発部
和文B	宇野 亨	東京農工大学大学院共生科学技術研究部システム情報科学部門
和文B	森下 久	防衛大学校電気電子工学科
和文B	村田 孝雄	NHK 技術局 送信技術センター(デジタル送信)
英文B	堀 俊和	福井大学工学部情報・メディア工学科
英文B	庄木 裕樹	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー
英文B	野本 真一	(株)KDDI研究所 ネットワーク設計グループ
英文B	神谷 幸宏	東京農工大学工学部電気電子工学科
英文B	市坪 信一	株式会社NTTドコモ 無線リンク開発部
英文B	廣川 二郎	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻
英文B	山口 良	NTTドコモ ワイヤレス研究所 EMC研究室
和文副委員長	菊間 信良	名古屋工業大学つくり領域 情報工学専攻
英文副委員長	山田 寛喜	新潟大学工学部 情報工学科
通ソ副編集長	新井 宏之	横浜国立大学大学院物理情報工学専攻
通ソ副編集長	井上 隆	(株)KDDI研究所 YRPリサーチセンターワイヤレスブロードバンドグループ
AP幹事	高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
AP幹事	宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部
AP幹事補佐	山本 学	北海道大学 大学院情報科学研究科 メディアネットワーク専攻

2005年度AP研常設委員会構成

区分	氏名	所属
委員長	唐沢 好男	電気通信大学 電子工学科
幹事	長 敬三	株式会社NTTドコモ 無線システム開発部
委員	岩井 誠人	同志社大学工学部電子工学科
委員	岩田 龍一	アンテン株式会社
委員	榎原 久二男	名古屋工業大学 おもひ領域 電気情報工学科
委員	佐藤 和夫	(株)豊田中央研究所 フロンティア12グループ
委員	庄木 裕樹	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー
委員	高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
委員	陳 強	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻
委員	廣川 二郎	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻
委員	藤元 美俊	福井大学 工学部 情報・メディア工学科
委員	宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部
委員	山本 学	北海道大学 大学院情報科学研究科 メディアネットワーク専攻
オブザーバ	宇野 亨	東京農工大学大学院共生科学技術研究部システム情報科学部門

2005年度AP研国際委員会構成

区分	氏名	所属
委員長	伊藤 公一	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
幹事	森下 久	防衛大学校電気電子工学科
幹事補佐	道下 尚文	防衛大学校 電気情報学群 電気電子工学科
委員	新井 宏之	横浜国立大学大学院物理情報工学専攻
委員	宇野 亨	東京農工大学大学院共生科学技術研究部システム情報科学部門
委員	神谷 幸宏	東京農工大学工学部電気電子工学科
委員	常川 光一	日本電信電話(株) 未来ねっと研究所
委員	陳 強	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻
幹事	宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部

2005年度AP研出版委員会構成

区分	氏名	所属
委員長	澤谷 邦男	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻
幹事	宇野 亨	東京農工大学大学院共生科学技術研究部システム情報科学部門
委員	安藤 真	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻
委員	新井 宏之	横浜国立大学大学院物理情報工学専攻
委員	伊藤 公一	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
委員	井原 俊夫	関東学院大学 工学部電気電子情報工学科
委員	唐沢 好男	電気通信大学 電子工学科
委員	菊間 信良	名古屋工業大学つくり領域 情報工学専攻
委員	庄木 裕樹	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー
委員	堀 俊和	福井大学工学部情報・メディア工学科
委員	牧野 滋	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部
委員	山口 芳雄	新潟大学 工学部情報工学科

2005年度AP研歴史委員会構成

区分	氏名	所属
委員長	塩川 孝泰	東北学院大学工学部電気工学科
幹事	宇野 亨	東京農工大学大学院共生科学技術研究部システム情報科学部門
幹事	牧野 滋	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部
幹事補佐	有馬 卓司	東京農工大学 工学部 電気電子工学科
委員	菊間 信良	名古屋工業大学つくり領域 情報工学専攻
委員	倉本 晶夫	日本電気(株) モバイルワイヤレス事業部 第六開発部
委員	庄木 裕樹	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー
委員	正源和義	NHK放送技術研究所衛星デジタルシステム
委員	鈴木 康夫	東京農工大学工学部電気電子工学科
委員	高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター
委員	長 敬三	株式会社NTTドコモ 無線システム開発部
委員	野本 真一	(株)KDDI研究所 ネットワーク設計グループ
委員	堀 俊和	福井大学工学部情報・メディア工学科
委員	真鍋 武嗣	大阪府立大学 大学院工学研究科
委員	森下 久	防衛大学校電気電子工学科

ISAP国際会議委員会委員名簿

委員区分(役職)	氏名	所属
個人委員(委員長)	手代木 扶	アンリツ(株)
ポスト委員(副委員長)	澤谷邦男	東北大学
個人委員(総務幹事)	伊藤公一	千葉大学
個人委員(会計幹事)	庄木裕樹	(株)東芝
個人委員	新井宏之	横浜国立大学
個人委員	安藤 真	東京工業大学
ポスト委員	井原俊夫	関東学院大学
ポスト委員	宇野 亨	東京農工大学
個人委員	唐沢好男	電気通信大学
個人委員	長 敬三	(株)NTTドコモ
委員長推薦委員	中野久松	法政大学
個人委員	古濱洋治	(財)テレコム先端技術研究支援センター
個人委員	牧野 滋	三菱電機(株)
個人委員	真鍋武嗣	大阪府立大学
ポスト委員	山崎恒樹	日本大学

* 個人情報が含まれておりますので、取扱いに注意し、目的以外に使用しないで下さい。

アンテナ・伝播研究会 2006年度実施計画

開催日	予定件数 (実績)	開催場所	テーマ	共催	併催・協賛	会場世話人 (敬称略)	備考	大会・国際会議等
4/20(木)	10	東北大	一般	IEEE AP-S		陳 (東北大)		・24-27 IEEE Radar Conference
5/18(木) 5/19(金)	20	鹿児島	衛星関連および一般	IEEE AP-S, URSI-F	SAT研(併催)	SAT研		・5/7-5/10 VTC Spring Melbourn ・5/1-4 AMTA Europe Symposium Munich
6/22(木)	10	機械振興会館	一般	IEEE AP-S		宮下 (三菱)	専門委員会、 顧問会	・6/11-16 MTTT San Francisco
7/6(木) 7/7(金)	20	広島工大	衛星関連および一般	IEEE AP-S, URSI-F	SAT研(併催)	浦崎 (広島工大)		・7/9-14 APS New Mexico ・7/16-19 ANTEM Montreal
8/24(木)	10	朱鷺メッセ	一般	IEEE AP-S		山田 (新潟大)	ISAP'07委員会	・8/2-5 PIERS2006 中央大
9/8(木)	10	芝俱樂部? 東京	一般	IEEE AP-S		平部・倉本 (NEC)		・9/10-15 European Microwave Conf. Manchester ・9/19-22 ソサイエティ大会(金沢大). ・9/25-28 VTC Fall Montreal
9/23(土) 9/24(日)	KJJC06@金沢							
10/19(木) 10/20(金)	20	京大	一般	IEEE AP-S URSI-F		和田 (京大)		・10/22-27 AMTA TEXAS ・10/26-29 ISAPE GuiLin
11月	休会 (ISAP06開催 11/1-11/4 @Singaporeのため)							・11/6-11 EuCAP2006 Nice
12/14(木)	10	機会振興会館	一般	IEEE AP-S		宮下 (三菱)	専門委員会、 顧問会	・12/12-15 APMC
1/25(木) 1/26(金)	20	福井大	一般	IEEE AP-S, URSI-F		堀 (福井大)		
2/15(木)	10	網走	一般	IEEE AP-S		柏 (北見工大)		・Australian Symposium on Antennas共催
3/8(木) 3/9(金)	20	台湾(台北)	一般	IEEE AP-S		AP国際委員会 D.C.Chang		・3/? 総合大会 ・3/21-23 IWAT Cambridge

年間予定件数/160件(960頁)

2006年度アンテナ・伝播研究専門委員会構成(案)

区分	氏名	所属 〒 所在地	TEL E-mail	FAX	任期 ～まで
1	専門委員長 安藤 真	東京工業大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S3-19	03-5734-2563 mando@antenna.ee.titech.ac.jp	03-5734-2901	07.5
2	副委員長 堀 俊和	福井大学工学部情報・メディア工学科 〒910-8507 福井市文京3-9-1	0776-27-8769 hori@m.ieice.org	0776-27-8751	07.5
3	幹事 宮下 裕章	三菱電機(株)情報技術総合研究所 アンテナ技術部 〒247-8501 鎌倉市大船5-1-1	0467-41-2533 Miyashita.Hiroaki@ab.MitsubishiElectric.co.jp	0467-41-2419	07.5
4	幹事 山田 寛喜	新潟大学工学部情報工学科 〒950-2181 新潟市五十嵐二の町8050	025-262-7477 yamada@ie.niigata-u.ac.jp	025-262-7477	08.5
5	幹事補佐 榊原 久二男	名古屋工業大学 ながれ領域 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町	052-735-5416 sakas@m.ieice.org	052-735-5416	10.5
6	専門委員 岩井 誠人	同志社大学工学部電子工学科 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3	0774-65-6267 hisaiwai@mail.doshisha.ac.jp	0774-65-680	08.5
7	専門委員 岩井 浩	松下電器産業(株)ネットワーク開発センター高周波グループ 〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006	06-6900-9613 iwai.hiroshi@jp.panasonic.com	06-6900-9614	12.5 新任
8	専門委員 臼井 英之	京都大学 生存圏研究所 〒611-0011 宇治市五ヶ庄	0774-38-3817 usui@rish.kyoto-u.ac.jp	0774-38-3817	09.5
9	専門委員 神谷 幸宏	東京農工大学工学部電気電子工学科 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7061 ykamiya@cc.tuat.ac.jp	042-388-7061	11.5
10	専門委員 坂口 浩一	日本大学生産工学部電気電子工学科 〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1	047-474-2376 ksakaguc@ee.cit.nihon-u.ac.jp	047-474-2399	08.5
11	専門委員 佐藤 和夫	(株)豊田中央研究所 フロンティア研究部門 〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町長湫横道41-1	0561-63-4698 ksato@mosk.tytlabs.co.jp	0561-63-6507	09.5
12	専門委員 真田 篤志	山口大学 工学部共通講座応用物理学分野 〒755-8611 宇部市常盤台 2-16-1	0836-85-9805 as@yamaguchi-u.ac.jp	0836-85-9801	12.5 新任
13	専門委員 関根 秀一	(株)東芝研究開発センター モバイル通信ラボラトリー 〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町1	044-549-2284 shuichi.sekine@toshiba.co.jp	044-520-1806	11.5
14	専門委員 高橋 応明	千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33	043-290-3498 masa@ieee.org	043-290-3327	08.5 新任
15	専門委員 田中 祥次	NHK放送技術研究所無線伝送方式 〒157-8510 東京都世田谷区砧1-10-11	03-5494-3465 tanaka.s-gw@nhk.or.jp	03-5494-3208	10.5
16	専門委員 田中 正人	情報通信研究機構 電磁波計測部門 〒184-8795 小金井市貫井北町4-2-1	042-327-7608 masato@nict.go.jp	042-327-5608	11.5
17	専門委員 長 敬三	NTTドコモ 電波研究室 〒239-8536 横須賀市光の丘3-5 NTTドコモ R&Dセンタ	046-840-3800 cho@m.ieice.org	046-840-6555	07.5
18	専門委員 陳 強	東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05	022-795-7097 chenq@ecei.tohoku.ac.jp	022-263-9223	10.5
19	専門委員 常川 光一	NTT未来ねっと研究所ワイヤレスシステムイノベーション研究部 〒239-0847 横須賀市光の丘1-1	046-859-3758 tsunekawa.koichi@lab.ntt.co.jp	046-859-3351	10.5
20	専門委員 平部 正司	NECモバイルワイヤレス事業部第四開発部 〒211-8666 川崎市中原区下沼部1753	044-455-8488 m-hirabe@ce.jp.nec.com	044-455-8490	08.5
21	専門委員 福迫 武	熊本大学工学部電気システム工学科 〒860-8555 熊本市黒髪2-39-1	096-342-3839 fukusako@eecs.kumamoto-u.ac.jp	096-342-3839	11.5
22	専門委員 藤元 美俊	福井大学 工学部 情報・メディア工学科 〒910-8507 福井市文京3-9-1	0776-27-8913 fujimoto@fuis.fuis.fukui-u.ac.jp	0776-27-8751	10.5
23	専門委員 前山 利幸	(株)KDDI研究所 特命先端研究グループ 〒356-8502 上福岡市大原2-1-15	049-278-7529 maeyama@kddilabs.jp	049-278-7521	11.5
24	専門委員 松永真由美	愛媛大学工学部電気電子工学科 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3	089-927-9783 mmayumi@dpc.ehime-u.ac.jp	089-927-9783	10.5
25	専門委員 三浦 周	(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 波動工学研究所 電波 〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台2丁目2番地2	0774-95-1576 amane@atr.jp	0774-95-1508	11.5
26	専門委員 山本 学	北海道大学 大学院情報科学研究科 メディアネットワーク専攻 〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目	011-706-6525 yamamoto@ice.eng.hokudai.ac.jp	011-706-6525	12.5 新任
27	専門委員 Kyeong-Sik Min	SRANT Lab., Dept. of Radio Science & Engineering, Korea Maritime #1 Dongsam-Dong, Youngdo-Ku, Busan, 606-791, South of Korea	+82-51-410-4425 ksmin@mail.hhu.ac.kr	+82-51-404-35	12.5 新任